

公共建築の未来をつくろう。

国土交通省 九州地方整備局
宮繕部（建築、電気、機械）
入 省 案 内





霞が関地区



中央合同庁舎第 6 号館赤れんが棟



中央合同庁舎第 2 号館



九段第3合同庁舎



総理大臣官邸



中央合同庁舎第 7 号館



京都迎賓館



国立劇場おきなわ



ようこそ



伊勢志摩サミット国際メディアセンターアネックス



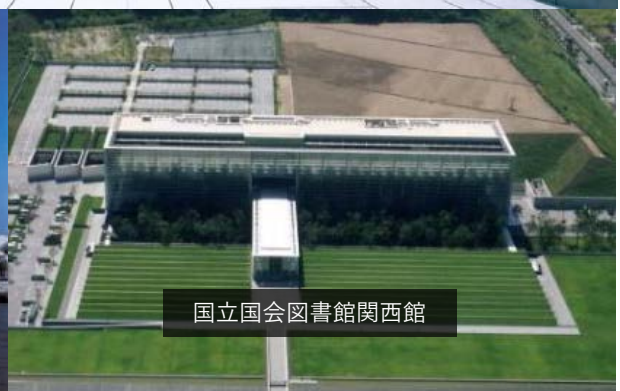
国立西洋美術館



国際こども図書館



国立横浜国際会議場



国立国会図書館関西館



長崎原爆死没者追悼平和祈念館



宮崎地方気象台



鹿児島県警察学校



福岡第1法務総合庁舎



ハローワーク佐賀



日南労働基準監督署



熊本合同庁舎



大分県庁舎（受託）



熊本地方法務局阿蘇大津支局



佐賀地方検察庁武雄支部・武雄区検察庁



古仁屋海上保安署

営繕部のとりくみ

営繕部では、良質な官庁施設の整備を通じて、時代と共に変化する社会的要請に応えるとともに、公共建築分野において常に先導的な役割を果たすよう取り組んでいます。

地域のまちづくりへの貢献



官庁施設は、都市の中核施設や地域の交流拠点となる場合が多く、地方公共団体をはじめとする様々な主体と連携し、官庁施設整備がまちづくりに貢献できるよう取り組んでいます。

PROJECT 熊本合同庁舎

熊本県、熊本市、地域住民、地元企業等と連携し、地域一体となって進めていた熊本駅周辺地区への都市機能集積という目標に対し貢献した事業です。整備にあたっては協議会を通じて地域の声を取り入れ、地域に開かれた広場等を整備しました。

今でも庁舎内でイベントを開催するなど地域に親しまれる庁舎となっています。



PROJECT 唐津港湾合同庁舎

整備局がウォーターフロント整備を通じて、まちづくりに貢献した事業です。“市民や来訪者など多くの人が集う「賑わい・交流空間」”を目標として、佐賀県、唐津市、地域住民、関係公的機関等と協力しました。唐津東港地区の整備にあたっては、地元団体「唐津みなとまちづくり懇話会」と協議を行い、明治・大正期の唐津を想起させる煉瓦調のデザイン、イベントにも活用できるエントランスホールに面した大庇、周辺とのつながりを考えたフェンスを設けない外構計画等の地元意見を取り入れ、地域になじんだ庁舎となっています。

安全・安心の確保



官庁施設が、災害に対して安全であるだけでなく、災害応急対策活動に必要な拠点として十分機能するように、計画的に整備を行っています。

PROJECT 福岡第1合同庁舎

既存庁舎に鉄骨ブレースによる構造補強を行い、新たに増築した建物にも鉄骨ブレースを設置することでデザインの統一を図り、景観への配慮を行っています。

[illegible]

平成28年4月の熊本地震では、熊本市の要請を受け、熊本合同庁舎が最大約1000名の住民の避難所として使用されました。

他にも、市庁舎が被災し使用できなくなった地方公共団体の要請を受け、市の災害対策本部が臨時に設置された官庁施設もありました。

地球環境への配慮



建築物は、その計画から建設、運用、廃棄に至るまで、大量の資材とエネルギーを必要とし、常に環境に負荷を与えています。

営繕部では、LED照明、高効率の設備機器等の導入や太陽光発電等の再生エネルギーの活用など「環境負荷低減に配慮した官庁施設」の整備を推進しています。

PROJECT 種子島合同庁舎

日射負荷を低減するバルコニーや屋上緑化、再生エネルギー（太陽光、風力）利用などにより、日差しと風の強い種子島の特性に対応し、環境と共生する庁舎を実現しています。

木材利用の推進



「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、官庁施設の木造化や内装等の木質化などを推進しています。

PROJECT 西都児湯森林管理署

新たな木材需要の創出が期待されるCLTパネル工法を活用して整備しました。国の庁舎建築では初の採用です。

地域の景観への配慮



PROJECT 鹿児島税務署

ここに建っていた旧気象台の外観をデザインに取り入れています。



PROJECT 大分地方法務局日田支局

勾配屋根とすること等により旧城下町のまち並みに調和させています。

官庁施設の整備にあたっては、その土地の歴史、風土、気候、景観条例等を把握し、景観への配慮や地域との調和に十分配慮しています。

老朽化対策

既存官庁施設をより長く安全に利用するため、老朽化の進行を防ぐ長寿命化事業（ハード対策）や、効果的・効率的に機能維持するための保全指導（ソフト対策）を実施しています。



PROJECT 指宿税務署

増築と既存庁舎の改修を一体的に整備し、長寿命化を図っています。



保全指導

施設管理者を対象とした会議を開催し、適切な保全手法や建築関連法令等を説明しています。

誰にでも使いやすい

高齢者や障がい者の方々を含むすべての人が、安全に、安心して、円滑かつ快適に利用できる官庁施設を目指し、ユニバーサルデザインの視点をもって整備を進めています。



ユニバーサルデザインレビュー

(熊本合同庁舎)

車いす利用者、視覚障がい者等の各団体に協力いただき、設計、施工及び運用段階で、案内サインや多機能トイレ等に対する意見をいただく「ユニバーサルデザインレビュー」を開催し、整備内容の充実を図りました。

災害時の地方公共団体への支援

熊本地震では、地方公共団体の要請により職員を派遣し（TEC-FORCE）、被災施設の調査や助言などの支援を行いました。市庁舎が被災した宇土市の事例では、熊本営繕事務所職員を被災直後に派遣し、現地調査から解体まで技術的支援を実施しました。

また、被災建築物の応急危険度判定などの支援も行いました。



宇土市庁舎の現地調査



山都町の施設現地調査



応急危険度判定の状況

大阪府北部地震では、高槻市より公共施設のコンクリートブロック塀の調査の要請があり、九州地方整備局営繕部から応急危険度判定士の資格を持つ職員を派遣し、迅速な安全点検及び注意喚起を行いました。



既設塀の傾きの確認



高槻市職員との打合せ



高槻市長へ調査結果の報告



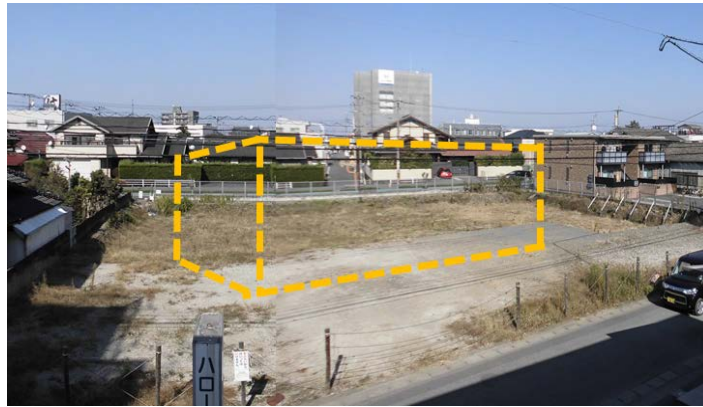
既設塀のずれの確認

「官庁営繕」のしごと

国家機関の建築物（官庁施設）の整備は、一部の特殊な施設などを除いて、国土交通省の営繕部が一元的に実施しています。

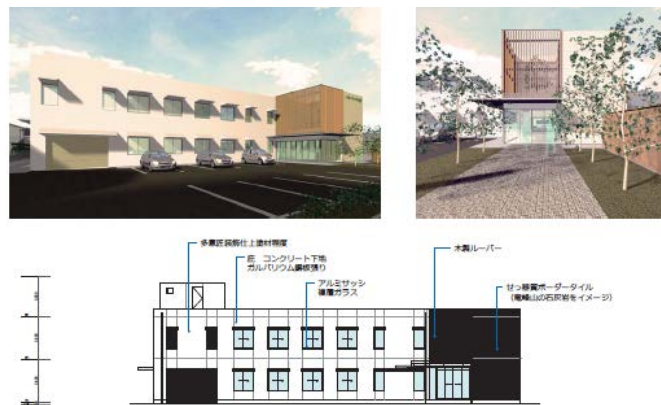
「官庁営繕」のしごとの流れを、ある官庁施設を例にとって説明すると次のようになります。

企画



施設の老朽、狭あいなど不具合状況を調査し、建替えや改修など必要となる事業を企画・立案し予算要求を行います。

設計



入居官署へのヒアリングや現地調査により、基本設計や実施設計を行い、発注図面作成や工事費算出を行います。

施工



工事を発注し、設計図面に基づく施工がなされるよう監督を行い、完成時には検査を行います。

保全



完成した施設が大切に維持管理されるよう、技術的な観点から入居官署に支援や助言を行います。

計画課

計画課は企画段階にあたる部署です。事業の発案や要求方針の決定、工事に係わる契約に関する業務や予算の計画及び調整を行います。また、施設を管理する各省庁や他部署との窓口としての役割や、一般的な事務を担います。

この仕事の魅力

計画課業務においては、各省庁や地方自治体の方々と話をさせていただく機会が多々あります。官庁営繕事業の実施にあたって、建物を使用する人たちの希望や意見をより聞くことができ、施設整備に携わる人間として、建物に対するニーズや、地域に資する考え方を培うことができるのが魅力です。

現職の業務内容

日々の業務としては、他省庁の方や地方自治体の方々とのかやりとりが中心で、官庁施設整備に対する要望を聞き、事業計画の策定、営繕計画書の作成を行っています。事案や相手方によって打ち合わせるべきことは様々で、相互に納得できるような事業計画を考えることは、非常にやりがいを感じています。

また、計画課は九州における営繕事業の実施状況等、各種調査依頼への対応も行っています。営繕全体の業務についても広く学ぶことができ、充実した日々であると感じています。



調整課

調整課では、国の建物を中長期的にどう整備するか調整・企画・立案すること、営繕工事関連の環境対策に関すること、官公庁施設の保全に関することを行っています。



職場の雰囲気

入省当時を振り返ってみると、「よりよい建物整備をするために役職関係なく、担当でどんどん意見をだしてね」と先輩・上司に言われてきました。日々、同僚、先輩、上司と協力・相談しながら仕事しています。

この仕事の魅力

企画段階1年、設計段階11年、施工段階5年、保全段階3年(その間に育児休業2年)と業務を果たしてきました。企画、設計、施工、保全段階とさまざまな部署で多様な仕事をする機会があるのも魅力の一つだと思います。

リレーマラソン

みんなで42.195km走ってます

毎年、営繕部でチームをつくり10人でたすきをつないで42.195kmを走る「リレーマラソン」に参加しています。

若手もベテランも、走るのが得意な人もそうじゃない人も一緒になって頑張り、汗を流した後は普段より何倍も美味しいビールで乾杯です！みなさんも入省した際は、ぜひ参加をお待ちしております。

ほかに、若手キャンプ会など様々なイベントがありとても楽しい休日を過ごすことができますよ！！



整備課

整備課は施設の設計や積算を行っています。より良い施設とするために、施設利用者のニーズを汲み取り、設計基準を守りつつ、設計図面を作り上げています。



整備課 機械設計審査係長

丸目 幸政

経歴

H15 設備課配属
H18 鹿児島営繕事務所
H20 熊本営繕事務所
H22 保全指導・監督室
H25 熊本営繕事務所
H26 鹿児島営繕事務所
H28 保全指導・監督室
H30 整備課

担当業務

税務署やハローワークなど官公庁施設の新築、改修工事の機械設備の設計図面や積算の審査を行っています。機械設備とは、建物の空調設備、給排水衛生設備、エレベーター設備等で、建物の快適性・利便性・環境性に関する分野の設計、積算業務に携わっています。

この仕事のやりがい

建築や電気設備の職員、設計事務所、施工業者など多くの人が関わり、一緒に一つの建物を造り上げていくところがこの仕事のやりがいです。また、利便性や快適性に知恵を絞りながら設計した建物が、利用者に喜ばれること、公共建築物として自分が携わった建物が形として残ることにも達成感を感じます。

担当業務

私は構造係に所属しています。構造係では柱・梁・基礎などの建物の安全の基本となる構造体の設計や、耐震改修などに係わる業務を行っています。上司や先輩の元で、営繕部の柱となるべく日々勉強中です。

九州地方整備局を志望した理由

理由としては、公共工事に携わりたいという点が一番大きかったです。また、生まれ育った九州でも働き続ける事ができるという点も理由の一つでした。

入省してまだ数ヶ月ですが、実際に九州各地の官庁施設に触れられる機会が多く、日々充実しています。



整備課 構造係

松尾 省吾

H30年度入省

1日のスケジュール

8:50 登庁
9:15 始業 業務の資料の整理・確認
12:00 昼食
13:00 勉強の一環で構造計算演習
16:00 構造分野の調査検討業務
18:00 退庁

技術・評価課

技術・評価課は工事の入札契約に関する事務や営繕工事に関係する工事の検査、完成施設の評価を行っています。



営繕品質管理官

松崎 幸治

経歴

S52 関東地方建設局配属
S55 近畿地方建設局
S62 設備課
H03 熊本営繕事務所
H07 設備課
H23 鹿児島営繕事務所
H27 中国地方整備局
H29 技術・評価課

今までに携わった工事で印象に残っている事

- ・入省して初めて主担当として設計した長野地方法務局読書(よみかき)出張所
- ・国立文楽劇場で舞台下の奈落から見上げた舞台
- ・大分県警察学校では工事費が足りず苦勞したこと
- ・熊本地震で被災した税大熊本研修所の復旧工事において、皆さんの協力がいかに大事か感じたこと

この仕事のやりがい

卒業間近の私にとって「この仕事のやりがい」は何だったのだろうと改めて思い起こしてみました。良いところ(悪いところも)がいっぱいありすぎて、一つには絞り込めません。ただ、いろんな所に行って仕事をしましたが、そこで様々な人と出会い、上手く繋がることができ、そこから「やりがい」が生まれたのではないかと思います。出会う人に恵まれ、本当に楽しい職場です。

保全指導・監督室、熊本営繕事務所、鹿児島営繕事務所

保全指導・監督室、営繕事務所では国の庁舎の工事監督、庁舎管理者への保全指導を行っています。工事監督は、庁舎に入居する職員や施工業者など多くの関係者と話し合いながら、設計図面をもとに、工事が適切に進むよう調整を行っています。



九州地方整備局を志望した理由

私が志望したきっかけは、父親の仕事を通じて建築に興味を持ったからです。工業高校にて建築を学び、この建築の面白さをもっと大きな建物で感じてみたい、災害が多い時代の中で安全な公共建築のもと、安心な暮らしを実現できるのは国土交通省しかない、地元九州を守り活性化をしたいと思い志望しました。

今までに携わった工事で印象に残っている事

初めて監督職員としてつかせてもらった現場において、現場に隣接する小学校の生徒が描いた絵を、まっさらな仮囲いに飾るという工夫が施されていたことや、『けんせつ小町』という建設業で働く女性技術者を応援する試みを通じて官民女性技術者の意見交換会を開催していることなど、様々な取り組みを行い、たがいに理解と協力を深めて工事を進める事が大事だと感じさせられた事が印象に残っています。

担当業務

利用者のニーズに合った良好な品質の施設を整備するため、入居官署や工事受注者等、多くの方と協議や調整をしています。また、完成した官庁施設の機能を最大限発揮し、できるだけ長く利用してもらうため、施設管理者への支援や助言を行いながら施設の性能水準を維持することも行っています。

事務所ならではの魅力

営繕事務所は、様々な官庁施設に赴く機会が多く、建物が目の前で完成していく過程に日々やりがいと達成感を味わっています。完成した施設へ足を運んだ際に、施設が利用されているところを見ると、行政の土台として役に立っていることを実感できます。また、様々な仕事を通して多くの方と関わることができる点も、営繕事務所の魅力だと思います。



仕事の魅力

図面に描かれた建物が実際のものへと完成していく姿を間近で見ることができるところに、仕事の魅力やものづくりへの面白さを感じます。保全指導は、完成した建物が適切に使われるよう庁舎管理者にアドバイスする仕事で、より良い状態で大切に使われている建物を見ると嬉しく思います。

今までに携わった工事で印象に残っている事

初めて工事現場へ行ったときに、現場事務所に女性更衣室や快適トイレが完備されていることに驚いたことを覚えています。建設業は男性が多いところですが、女性も抵抗なく工事現場へ足を運ぶことができる環境が整っていて、今では工事現場へ行くことに楽しさを感じています。職場も上司や先輩に何でも相談しやすい雰囲気、充実した毎日を過ごしています。

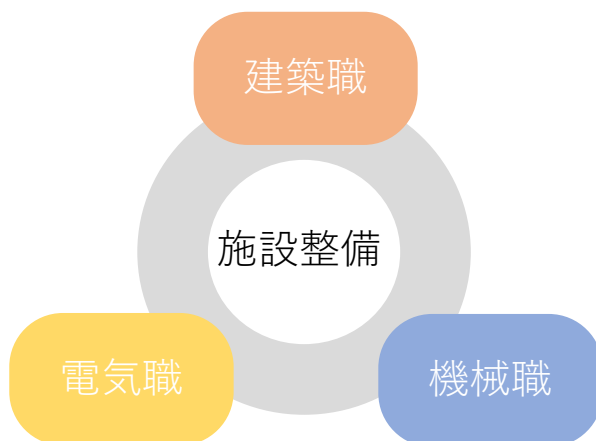


営繕部の技術者

一人一人がトータルコーディネーター

営繕部では、建築職、電気職、機械職それぞれの専門知識を持つ担当者が、お互いに密接に連携しながらチームとして業務を行い、官庁施設の整備を行っています。

施設を利用する人の立場に立ち、より良い建物を目指し、どの職種でもトータルコーディネーターとして業務に関わっています。



建築職、電気職、機械職の先輩がそれぞれの職種のしごとの内容を紹介します。

建築職



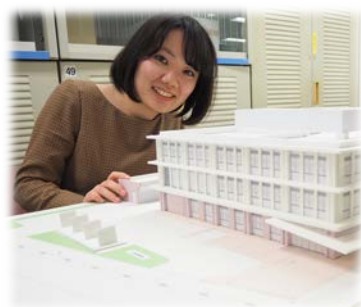
外観パース



チームミーティング



緑化イメージスケッチ



佐々木 真美
H29年度入省

建築職は、建物の形、色、プラン等の設計に関わるのはもちろん、プロジェクトを総合的に調整する役割も担っています。地域にある国の建物としてこういったことが求められるか、使用される方（入居官署など）のお話を伺ったり、地域の方に意見を頂いたりします。また、設計の際には意匠・構造・積算の担当に分かれ、それぞれの専門性を高めながらも調整を行い、プロジェクトを進めていきます。

使用される方や設計者、施工者など様々な方と関わり合い、まちや建物づくりを行っています。国や地域の未来を考えて建物をプランニングする、魅力ある仕事です。

電気職



庁舎夜景



ホール照明



自家発電設備



岡 滉
H29年度入省

皆さんは電気設備といえば何を思い浮かべるでしょうか。

まず照明があります。コンセントもそうですね。でもそれだけではありません。皆さんの1日を振り返ってみてください。

テレビをつけ、エアコンのスイッチを入れ、ネットを見て、電話をして・・・、電気がなく、通信が出来ない生活は想像できないのではないのでしょうか。

官庁施設における電気設備は、個人の家などとは全く異なる規模の設備を扱っています。自家発電設備や防犯設備等、特殊な機器も多く、実際に使われる方や機械、建築との調整もあり、変化に富んだ面白みを感じられる仕事です。

機械職



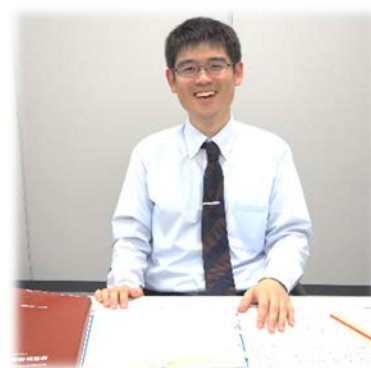
機械室



トイレ



エレベーター



尾上 智之
H29年度入省

機械職では空調調設備や給排水衛生設備、昇降機設備などの機械設備を設計・施工し、人が快適に過ごすための機能確保に取り組んでいます。

空調調設備は空調調機や送風機、給排水衛生設備はトイレや建物への給排水、昇降機設備はエレベーターなどを指します。

これらの機械設備は、建物の規模、用途、使用人数などの様々な条件を基に計算を行い、室内の温湿度や換気量、トイレの数や建物への給水量、エレベーターの種別などを適切に検討し図面を作成します。作成された図面を基に施工され、完成後は使い方をアドバイスします。建物を使う方が満足できる中身にするやりがいを感じられる仕事です。

スキルアップ

採用後は、計画的に勉強会、現場見学、研修などのOJT/OFFJTが実施されます。

全国の営繕部職員が参加する国土交通大学校での研修では、貴重な横の繋がりが生まれます。



5～10年目

- 整備の要求水準を的確に設定できる
- 施設管理者の要望を検討、調整できる
- 考えを整理し、自分の言葉で伝えられる

専門課程 営繕科研修

国土交通大学校（東京都）

3～5年目

- 受注者等と一人で打合わせができる
- 予算管理、業務工程管理ができる
- 業務成果品を確認できる

建築技術研修

九州技術事務所（久留米市）

2～3年目

- 担当業務が一通りできるようになる
- 担当業務のスケジュールの作成・管理ができる
- 担当業務の関係者とコミュニケーションが取れる

1年目

- 担当業務の基本的流れを覚える
- 設計図等の内容を理解できる
- 施設整備の基本的知識を覚える

初級課程 営繕科研修

国土交通大学校（東京都）



1年目のモデルケース

人事課研修

入省

新規採用職員（前期）研修
九州技術事務所（久留米市）（1週間程度）



新規採用職員（後期）研修
九州技術事務所
（久留米市 1週間程度）

職員としての自覚を促すとともに、基礎的知識の習得を目的としています。

4

5

6

7

8

9

10

11

12

1

2

3

営繕部研修



現場見学会等

施工中の建物や、完成した建物の見学会が開催されます。現場に行き、もの作りの一端を直接感じ、営繕技術者としての一歩を実感できます。

初級課程営繕科研修
国土交通大学校
（東京都小平市 1週間程度）

全国の入省1年目の営繕職員が国土交通大学校に集結し、専門分野の設計・積算の基礎知識を習得します。

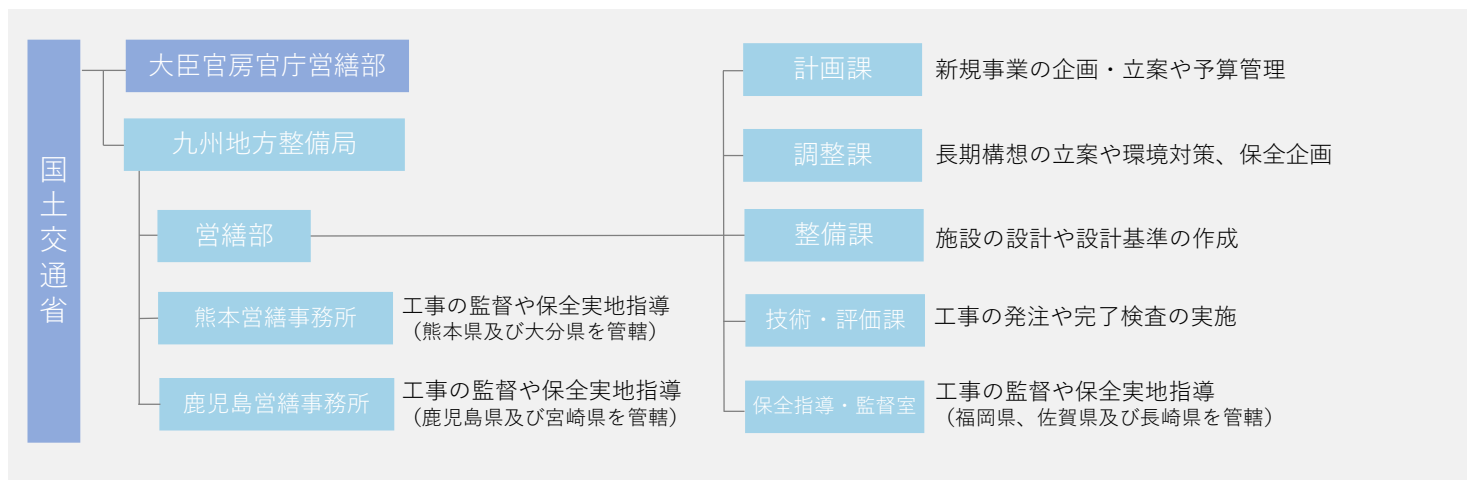


基本設計コンペ
（2ヶ月程度）

入省3年以内の職員が、小規模庁舎の基本設計、プレゼンテーションを行いました。

営繕部のそしき

営繕関係の組織



勤務時間（フレックス制度などもあります。）

九州地方整備局営繕部	9時15分	～	18時
熊本・鹿児島営繕事務所	8時30分	～	17時15分

勤務先

九州地方整備局営繕部は福岡市に、熊本営繕事務所は熊本市に、鹿児島営繕事務所は鹿児島市にあります。



九州地方整備局営繕部



熊本営繕事務所



鹿児島営繕事務所



Q&A

Q1：建築士などの受験資格は得られますか。

A1：例えば、一級建築士の場合、営繕部の設計・施工部門などでの経験は、受験要件である実務経験に該当します。営繕部の若手職員も積極的に試験を受けています。

Q2：学校で学んでいるのは建築以外の分野ですが、採用に応募できますか。

A2：営繕部には建築以外に電気・機械などの様々な専門分野の職員が多数います。営繕部に興味を持たれた場合には、まず問い合わせ先（最終ページ参照）までご相談ください。

「土木営繕もあります」

土木営繕では、九州地方整備局の事務所（営繕事務所・港湾空港関係を除く）が実施する建築物全般の整備に関する業務を行っています。具体例としては、整備局の事務所・出張所の庁舎・宿舍を整備するほか、河川（ダム）の事務所であれば、ポンプ場上屋などの河川・ダム管理施設、道路の事務所であれば道の駅・歩道橋のエレベーター棟などを整備しています。国営公園施設や防災関係施設も担当しています。



国土交通省 九州地方整備局 営繕部

住所：福岡市博多区博多駅東2丁目10-7

電話：092-471-6331（問合せ先：内線5151）

九州地方整備局営繕部のホームページ
<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-tatemono/>

